

EU Indicators

欧州経済指標コメント：5月英国消費者物価

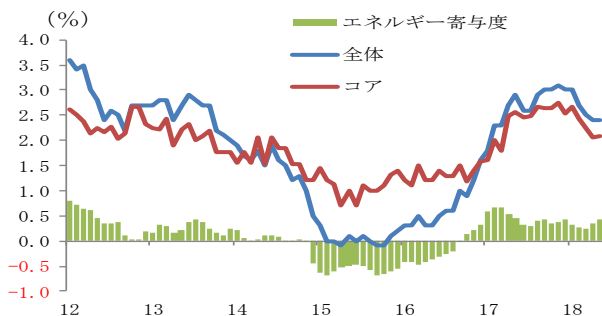
発表日：2018年6月13日(水)

～エネルギー要因で夏場に再加速～

第一生命経済研究所 経済調査部
 首席エコノミスト 田中 理
 03-5221-4527

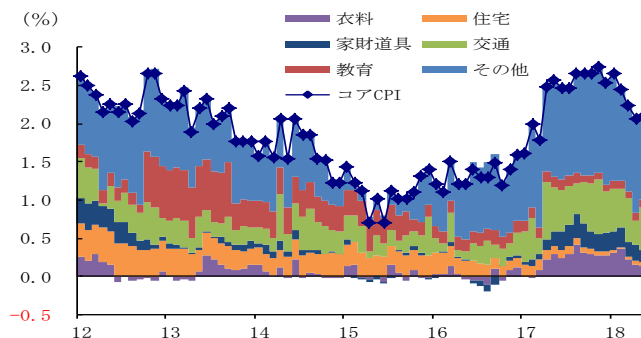
- 5月の英国の消費者物価は前年比+2.4%と前月から不変。内訳は、原油価格の上昇を背景にエネルギー（前月：同+4.5%→今月：同+5.8%）の上昇率が加速した一方、食料品（同+2.7%→同+2.3%）とアルコール飲料（同+1.4%→同+0.3%）の上昇ペース一服がこれを相殺した。コア物価は同+2.1%と前月と変わらず、1月の同+2.7%からピークアウト傾向にある。
- エネルギーの内訳は、ガソリン価格の上昇を反映して自動車燃料（同+3.1%→同+8.0%）が大幅に加速した一方で、住宅用燃料（同+5.7%→同+3.7%）が前年同月の反動もあり鈍化した。原油先物価格は5月中旬以降ややピークアウトしているが、“前年同月の裏”の関係で向こう2ヶ月の自動車燃料は高めに出やすい。他方、大手ガス会社による最近のガス料金の値上げが今月の計数に反映されていない模様で、来月以降の住宅用燃料を押し上げよう。エネルギーは当面高止まりが予想される。
- コア物価の内訳は、家財道具（同+2.7%→同+2.1%）、医薬品（同+1.8%→同+1.1%）、電話（同+0.9%→同+0.6%）、娯楽（同+3.5%→同+2.6%）、宿泊（同+2.5%→同+1.8%）が押し下げに働いた一方、航空運賃（同▲7.9%→同+8.2%）が押し上げ。航空運賃の大幅反発はイースター休暇時期のズレによる前月の下振れ剥落が影響。エネルギー価格の上昇に牽引され、夏場にかけてインフレ率は再加速が予想されるものの、物価の基調がそれほど強い訳ではない。

■英国：消費者物価の推移（前年比）



注：コア物価は食料・タバコ・アルコール・エネルギー除く
 出所：英統計局資料より第一生命経済研究所が作成

■英国：コア消費者物価の要因分解（前年比）



出所：英統計局

■英国の消費者物価 (%)

	2017				2018				2018				
	2Q	3Q	4Q	1Q	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月
消費者物価 (前期比)	1.2	0.5	0.8	0.2	0.3	0.1	0.3	0.4	-0.5	0.4	0.1	0.4	0.4
消費者物価 (前年比)	2.7	2.8	3.0	2.7	3.0	3.0	3.1	3.0	3.0	2.7	2.5	2.4	2.4
コア消費者物価 (前年比)	2.5	2.6	2.6	2.4	2.7	2.7	2.7	2.5	2.7	2.4	2.3	2.1	2.1
食料品 (前年比)	2.0	2.6	4.0	3.2	3.0	4.0	4.1	3.9	3.7	3.0	3.0	2.7	2.3
アルコール (前年比)	2.8	3.3	3.0	2.1	2.6	2.9	3.3	2.7	2.2	3.2	0.8	1.4	0.3
たばこ (前年比)	6.2	5.4	6.2	7.3	5.4	5.3	5.3	8.0	8.3	7.8	5.8	6.1	7.2
エネルギー (前年比)	5.7	4.9	5.1	3.7	5.7	4.7	5.0	5.6	4.2	3.6	3.2	4.5	5.8
住宅用燃料 (前年比)	3.8	5.2	6.2	6.3	5.2	6.0	6.4	6.3	6.4	6.4	6.2	5.7	3.7
自動車燃料 (前年比)	7.6	4.4	3.8	1.0	6.1	3.4	3.5	4.7	2.1	0.8	0.3	3.1	8.0

注：消費者物価の前期比は季節調整前。コア消費者物価は食料・アルコール・たばこ・エネルギーを除く。出所：英統計局

本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所経済調査部が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見直しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。